

京都女子大学

食物學會誌

第 8 號

JOURNAL OF FOOD SCIENCE
KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY

No. 8

京都女子大学食物学会

FOOD SCIENCE SEMINAR
KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY

JULY 1960

食 物 学 会 誌

第 8 号

目次

綜 說

食品衛生学的見地から観た腸内細菌の今昔(Ⅲ)

「特に赤痢菌群Shigella group に就いて」(其の二)……………平 田 一 士 1

研究報文

Citrobacter Bethesda の一集団感染例について.....	故	平松	田本	一珠	士美	14
---------------------------------------	---	----	----	----	----	----

二、三食品の Tannin に関する顕微化学的研究(第2報).....	足立	立	晃	太	郎	
	亀	井	光	太	郎	19
	秋	山	知	子	子	

白米の腐敗による成分変化の研究.....鈴木 佐和子 23

大豆の核酸について.....岡 本 繁 子 28

pH値による魚類鮮度鑑定の一新法について	足下 亀	立村 井	晃太郎 佐和子	35
----------------------------	---------	---------	------------	----

炭酸ガス発生量による食品の鮮度鑑定について……………	足下小	立村田	晃太郎	太和史	子枝	38
----------------------------	-----	-----	-----	-----	----	----

調 査

栄養士の養成施設.....土 屋 忠 良 43

昭和34年度卒業論文要旨.....44

学 会 記 事.....62

学 会 記 事

○本年度食物学会会長に一瀬教授，副会長に中原教授
また会誌編集常任委員に太田教授，岡部講師が夫々
再選された。

○辞令（写）4月1日附

京都女子大学助教授兼京都女子大学短期大学部助教
授 太田馨 京都女子大学教授兼京都女子大学
短期大学部教授に任ずる。

京都女子大学副手 芦田輝子，小松初子，遠藤由紀
子 京都女子大学助手に任ずる。（各通）

京都女子大学特別研究生 亀井光子 京都女子大学
副手に任ずる。

江崎君子 京都女子大学特別研究生（二ヶ年）を許

可する。

湯浅和子 京都女子大学特別研究生（一ヶ年）を許
可する。

○調理研究室の西島洋子さん，斉藤百合香さんは3月
末をもって退職された。

○本年度新入会員は大食49名，短食 113名，二部26名
である。

○本年度大食卒業生の就職状況は略100%であり，開
学以来の新記録を示した。

○本年度食物学会夏季公開講座は下記の様に開講され
ますので，多数御誘い合せの上受講される様希望致
します。

日	時	講 座 内 容	講 師
7月30日(土)	9.00~12.00	栄養学に於ける最近の二三の問題	京都大学教授 農博 満田 久輝
	13.00~15.00	中世に於ける食事と調理界の発展 (絵巻物，参考品供覧)	本学教授 江馬 務
7月31日(日)	9.00~15.00	スイス料理の特色と欧風料理のコツ (調理実習)	ミヤコホテル シェフ オースガ スバ
8月1日(月)	9.00~15.00	料理法の科学的考察(実験を主とした)	本学教授 太田 馨

聴講料 一般 300円，本学学生 150円（但し調理実習は実費徴集）

○なお調理実習講師オースガ スバ氏は今回ミヤコホ
テルが特に招聘したスイス人であります。ミヤコホ

テルの特別の計いで本講座のため講師を快諾された
もので他では受講し得ない貴重なものである。

編 集 後 記

○本誌も第8号を重ねるに到りまことに喜ばしい次第
です。

○例年の通り本号には新卒業生諸姉の卒業論文要旨を
集録しました。一部投稿がなかつたのは甚だ残念で
あります。尚紙面の都合上今後要旨原稿は1000字以
内にお願いします。

○いつも一般学生からの投稿が極めて少いのですが今

年は科学同好会の誕生もあり，次号には多数の御投
稿あるものと期待しています。奮つて御投稿下さ
い。

○原稿の送付，御質問，御意見等は下記に願います。

京都市東山七条 京都女子大学

食物学会誌 編集委員 電⑥6131 学内26

第 9 号	
原	稿 募 集
締 切 日	10月20日

京都女子大学 食物学会誌 第8号 (非売品)

昭和35年7月1日 印刷

昭和35年7月6日 発行

編集委員代表

編集者 太 田 馨

発行所 京都女子大学食物学会

京都市左京区百万遍東入

印刷所 栄光堂印刷所

電⑦0695・2970
